平成 31 年 3 月 27 日

吹田・生物多様性保全の会御中

えのき内さとし

ご質問に対してのご回答

質問１：生物多様性戦略について
回答：地球の長い歴史の中で、環境に適応し進化してきた生物は相互に係わり合い、多様性ある生態系として、命ある地球の環境そのものを形成している。いうまでもなく生物多様性の保全は重要であり、近隣自治体や大阪府、環境省と連携した広域的な取り組みが必要であると考えている。生物多様性戦略の策定については、吹田市において議論、検討すらなされていない状況である。今後、検討をすすめて行くべきだと考えている。

質問２：特定外来生物
回答：外来生物法に定めるとおり、生物多様性の確保、生態系の維持保全のために必要な防除を行なうべきと考えている。協働いただける地域住民や市民団体等と共に、特定外来生物を防いでいくための防除計画を策定すべきと考えている。

質問３：緑被率 30%達成のために
回答：第２次みどりの基本計画について、その具体的施策を確かに前に進めていくことで達成をすべきと考えている。

質問４：生産緑地
回答：都市における田圃の役割については、ヒートアイランド現象緩和などさまざまであると考えるが、特に私としては自然や農業を通じた情操・環境教育、食を通じた文化や伝統の継承といった役割が大切だと考えている。本市においては市民農園についての市民ニーズがかなり高いと認識しており、生産緑地については、市民農園の開設を支援する取り組みを進めて行きたい。